学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選論理国語」「文学国語」（数研出版）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店），意味から習得　音訓別重要頻出漢字リアルマスター３３００（尚文出版），アップリフト　現代文　入試標準　［改訂版］，読解評論文キーワード改訂版（筑摩書房），共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版），共通テスト対策　新しい第3の現代文　集中完答11（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文」では、さまざまな文章の読解を通して、多面的な視点を獲得し、現代の社会を主体的に生きる力を育むこと、また、自分が感じたことや考えたことを、相互に発表し合う活動を通して、自身の人生を豊かにする力を育成することをねらいとしています。日常生活でも、読書などを通して、グローバルな世界で主体的に生きていくための素養を身につける努力を続けてください。
・「現代文」では予習が何より大切です。新たに学習する文章は、必ず自分で読み、語句の意味を辞書で調べること。わからない箇所を明らかにして授業に臨んでください。指示語の確認や、教科書に学習のてびきとして掲載されている問題を自分で解いてみましょう。授業では、考えたことや感じたことを積極的に表現すると同時に、相手の表現を理解することを心がけてください。

2　学習の到達目標

１．近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２．近代以降のさまざまな文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３．進んで読書し、表現することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 また、実社会の中で，自分の生き方や社会の在り方について，広く，深く，批判的に思考するための知識や技能を身につけられるようにする。	理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	評論① ・具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・スポーツとメディアの関係についての考えを深める。 ［教材］ 多岐浩二「消費されるスポーツ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	評論②③ ・具体から抽象へと展開していく筆者の主張を的確にとらえる。 ［教材］ 小浜逸郎 「人はなぜ働かなくてはならないのか」 岡真理 「『文化が違う』とは何を意味するのか」	a：文化や社会についての評論を通して、日常を新たに見直す視点を得ようとしている。 b[読]：読み取った本文の内容を、的確な表現でわかりやすく説明できている。 c:具体から抽象へと展開していく論理的な構成に従って、筆者の主張を正確に読み取っている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	小説① ・明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 ・登場人物の境遇と心情を理解する。 ［教材］ 森鴎外「舞姫」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	書く① 語り手の視点を意識して書く。 ［教材］ 視点を考えて書く	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]：文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 c：語り手の視点を意識した上で、構成や展開、表現のしかたなどについて吟味しながら文章を書き、読み合うことを通じて語り手の重要性について理解を深めている。	課題	課題	課題
	小説② ・心の不可解さや生の不条理さについて考える。 ・寓話のおもしろさを知る。 ［教材］ フランツ・カフカ「掟の門前」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の方法などについて的確にとらえている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

		c:作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深めようとしている。			
	書く② ・仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。 ・主張と根拠の関係を吟味し、必要な情報を集める。 [教材] 仮説を立てて検証する	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。また、推論のしかたについて理解を深め使っている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。また、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c:学習の見通しをもって、主張と根拠の関係を吟味しつつ、積極的に仮説の検証をしようとしている。	課題	課題	課題
	問題演習 「共通テスト＋センター試験国語過去問題」	a:文脈の中での語彙の意味の理解や、文章読解に必要な知識の定着ができている。 b[読]:文章や資料の内容を総合的に理解し、出題者の設問の意図に即した、正確な読み取りができている。 c:自身の進路を見据え積極的に取り組んでいる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１６　）時間

・読むこと　…　（　５４　）時間